



▲がんばれゆうすけさん(左)と元気よくスタートする小学生

**第16回しらかわ郷里マラソン
初秋のコースを駆け抜ける**

9月9日、東風の台運動公園(東釜子)をスタート・ゴールに「第16回しらかわ郷里マラソン」が開催されました。爽やかな秋晴れのもと、全国から集まった1,210人のランナーは、ゲストのがんばれゆうすけさんとともに各コースを駆け抜けました。沿道からは、地元の小中学生や保護者から、多くの声援が送られました。

5種目24部門の競技のほか、ランニングレッスンや、お笑いコンビ・ランナーズお笑いショーも行われ、会場を盛り上げました。



▲石引きレースで重さ300kgの白河石を引く出場者

ふるさと川まつり&県南S・1グランプリ
多彩なイベントと「当地グルメを満喫」

8月26日、大信総合運動公園(大信上新城)で「第18回2017ふるさと川まつりin白河たいしん」が開かれ、「大信名物石引きレース」では、来場者の声援のもと、参加チームは力自慢を競いました。

翌27日には、同会場で「第3回県南S・1グランプリinたいしん」が開催され、県南地方の11商工会青年部による「当地グルメ対決をはじめ、ゲストのなすびさんも参加した「聖☆うどん早食い競争」や「ゆるキャラ♡つなひき」などが行われ、会場は大いに盛り上がりました。



▲学芸員から展示解説を聞く来場者

**特別企画展「文晁門人 蒲生羅漢」
白河の絵師の作品を一挙公開**

9月16日、白河集古苑(郭内)で特別企画展「文晁門人 蒲生羅漢」白河のまちを飾った絵師」が始まり、関係者によるテープカットなどのオープニングセレモニーが行われました。

11月5日(日)まで開催される本展では、江戸画壇の重鎮・谷文晁の弟子となり、滋賀・石山寺の寺宝である縁起絵巻の模写事業に関わった郷土の画家・蒲生羅漢の業績を、作品約70点とともに紹介しています。なお、10月15日(日)と最終日には、学芸員による展示解説会が行われます。



▲シンポジウムで意見を述べ合う星氏(右)と植村氏(中)

城フェスタ白河大会
城下町白河の歴史と魅力に触れる

8月26日、小峰城跡とコミネス(会津町)で「城フェスタ白河大会」が開催されました。

歴史作家の星亮一氏とNPO法人しらかわ歴史のまちづくりフォーラム専務理事の植村美洋氏によるシンポジウムが行われ、来年150年を迎える戊辰戦争について意見を交わしました。また、ボランティアガイドによる「白河小峰城めぐりツアー」や二本松少年隊・会津白虎隊・奥州白河太鼓による演武競演が行われ、来場者は城下町白河の歴史とその魅力を楽しみました。



▲一斉にスタートする女子選手

**第22回しらかわ駅伝競走大会
白河路で襷をつなぐ**

9月17日、しらかわカタルルスポートパーク陸上競技場(北中川原)付設「公認しらかわ駅伝コース」を舞台に、「第22回しらかわ駅伝競走大会」が行われました。

県内外から175チームがエントリーし、仙台育英学園高A(高校男子・女子の部とも)、松戸市陸上競技協会(一般男子の部)、コモディイイダ(一般女子の部)が優勝しました。

また、競技にあわせ、まちなかにぎわいイベントや本県出身の柏原竜二さんによるスペシャルトークショーが行われました。



▲市長と意見を交わす大信中の生徒

しらかわ未来フォーラム
市内中学生が市長と意見交換

8月30日、9月4日・5日、市内各中学校で、「市長と語る「しらかわ未来フォーラム」」が行われ、生徒は、まちづくり、観光、教育などについて市長と意見を交換しました。

これは、選挙権年齢が18歳に引き下げられ、公民権・主権者教育の重要性が増すなか、市政への関心や未来の白河を担う市民としての自覚を高め、郷土愛を育むことを目的に企画されたものです。

また、東・五箇・東北中学校では、フォーラムを機会に市長と生徒が一緒に給食を食べ、交流を深めました。